

- ・各項目について、自分の考えを書こう。

【はじめに】

- ・あなたがもっている「働くこと」についてのイメージは、何から影響を受けているか？

- ・なぜ労働をするのか？

【終わりに】

【振り返り】 今回の教材を通して、改めて考えたことや気づいたことをまとめよう。

- ・各項目について、自分の考えを書こう。

【はじめに】

- ・あなたがもっている「働くこと」についてのイメージは、何から影響を受けているか？

- ・なぜ労働をするのか？

【終わりに】

- ・なぜ労働をするのか？ (優先順位が高い順番で理由を三つ書いてみよう。)

- ・筆者の、「生き延びるため」に労働するという考えについて、あなたはどのように考えるか。

【振り返り】 今回の教材を通して、改めて考えたことや気づいたことをまとめよう。

〈導入〉

(1) 「労働」とは？（経済学的な定義として）

↓人間が道具や機械などの手段を利用して労働の対象となる天然資源や原材料に働きかけ、生活に必要な財貨を生み出す活動。（教科書一七〇ページ参照）

(2) 家庭科では、「働くこと」についてどのようなことを学んだか？

(3) 仕事を選択する際に重要と考える観点について、「とても重要」「まあ重要」「あまり重要でない」「全く重要でない」からそれぞれ一つ選んで回答すること。

↓【アンケートに回答する】

〈導入〉 ↓ (1)、(2) は【アンケートに回答する】

- (1) 「やりがい」を感じるときはいつか？もしくは、「やりがい」を感じることは何か？
- (2) なぜそのときに「やりがい」を感じるのか？
もしくは、なぜそれをしていて「やりがい」を感じるのか？
- (3) 自分にとって「やりがいのある仕事」とはどのようなものか？

〈振り返り〉

- ・ 筆者が主張する、「若者の労働観」について理解できたか。() ◎ ・ ○ ・ △ ()
- ・ 「やりがいを感じる」とき(こと)「 」と「やりがいのある仕事」の間にある違いはなんだろうか？

〈導入〉

(1) 〈前回の復習〉

利益を受け取るのが「私ひとり」である仕事にしか「やりがい」を持ってないという感覚が若者にはあると筆者が主張していたが、それにどれくらい共感できるか？

共感できる () 5 ・ 4 ・ 3 ・ 2 ・ 1 () 共感できない

(2) (1) のように回答した理由を書いてみよう。

〈振り返り〉

・ 筆者が示した根拠の「受験勉強」について、内容を理解することができた。

() ◎ ・ ○ ・ △ ()

・ 筆者が示した根拠の「バイト」について、内容を理解することができた。

() ◎ ・ ○ ・ △ ()

〈次回に向けて〉

・ 若者の労働観を主張するために、筆者が示した二つの根拠（「受験勉強」と「バイト」）は妥当だろうか。() ◎ ・ ○ ・ △ ()

〈導入〉 〓前回の復習〓

- (1) 自分の努力で出した成果を、集団で共有することについて抵抗があるか。
- (2) 「自分の仕事」の境界線の外的ことでもサポートに入ったにもかかわらず、大きく評価されないことについて抵抗があるか。

〈内容〉 〓筆者の主張について吟味しよう〓

★(教科書一七五ページ一行目)

身近な例で「特異なメンタリテイ」に当てはまる場面を考えてみよう。

※ヒント…挨拶

--

資料A

資料C

★(教科書一七五ページ二、三行目)「多くの若者たちが『三年で辞める』のはそのせいであろう。」とあるが、別紙の資料と比較しながら筆者の主張を検討してみよう。

〈ステップ1〉 資料Aからわかること

【 筆者の主張の批判材料になること 】

【 筆者の主張の補強材料になること 】

〈ステップ2〉 資料Cからわかること

【 筆者の主張の批判材料になること 】

【 筆者の主張の補強材料になること 】

〈振り返り〉

- ・「特異なメンタリテイ」について理解することができた。() ◎ ○ △ ()
- ・筆者の主張について批判的に検討することができた。() ◎ ○ △ ()